

令和5年度 第1回外国人指導研究部研修会

令和5年5月31日(水)
会場：浜松市立南の星小学校体育館

研究主題

夢をもって 多文化共生社会で生きる力を育む指導
～日本人児童生徒との温かな関わりを基盤にした在籍学級での学びを通して～

1 顧問校長挨拶



2 部長挨拶



3 実践発表

○テーマ

「外国につながる児童生徒と外国人指導担当者の困り感を解消するために」

- ・学校生活での「やさしい日本語」

外国につながる児童生徒を多く抱える学校では、日々のコミュニケーションや電話対応、お手紙やさくら連絡網など、生活の中のあらゆる場面で「やさしい日本語」を活用している。

例

表題

2/16(木) ○年○組 学級閉鎖中における健康観察について

(2/16 ○ねん○くみ けんこうちえっく)

本文

画面下の『回答』ボタンを押して、健康観察をお願いします。

(したの 『回答』ボタンを おして けんこうちえっくを してください。)

学級閉鎖決定への対応に御理解御協力を賜り、誠にありがとうございます。
登校日【17日】の朝まで本アンケートを活用して、健康観察をしていきたく思います。
御理解御協力のほどよろしく申し上げます。16日(木)朝の時点でのお子さん及び御
家族の健康観察を本アンケートにて御確認ください。必ず回答頂きますよう、御協力のほ
どよろしく申し上げます。

こどもや かぞくの けんこうを かくにんします。

2/16 8:00までに こたえてください。

・「やさしい日本語」で伝えるあゆみ (所見)

R5年度より、外国人児童生徒の通知表は、原則「やさしい日本語」や「ルビふりによる日本語文」で作成されるようになる。※スズキ校務はルビへの対応はできません。

<参考文献>

『学校版「やさしい日本語活用のための手引き」～保護者への学校からの便り・成績表～』 2021年 浜松市教育委員会

→ミライム 共通キャビネット 「15教育支援課(共通)」「150512 やさしい日本語」

例

学習面 国語科

国語科の学習では、漢字と平仮名の読み方を覚えて、教科書の文章を音読することができるようになってきました。



こくごの べんきょう では、かんじと ひらがなの よみかたを おぼえました。それで、きょうかしょを こえに だして よむことができました。

・「やさしい日本語 まとめ」

- ① 浜松市の現状(多国籍化)に対応できる。
- ② 日本語話者なら、対応できる。
- ③ 通訳・翻訳と連携して、適材適所の対応ができる。
- ④ 児童・生徒、保護者が学校教育に前向きになる。



**より良い
多文化共生社会へ**

4 部会別情報交換会（感想）

- 中学校区の先生方と情報交換することで、「やさしい日本語」について知ることができた。
- 校内だと、一人で判断し実行することが多いので、多くの先生方と共に研修することができてよかった。
- 同じ学区の先生方との情報交換により、中学校へ進学した生徒の様子や今後の進路について知ることができた。

5 閉会の挨拶